

10 アバ父よ

イエスは私どもに「子よ」と呼びかけ、また、「わが友よ」と呼びかけたもう。主の御声を心に聞いて見上げれば、救主キリストと父なる神が、限りなき愛のまなざしをもって天から見下ろしておられる。私どもはキリストを通して、天にいます父なる神を「アバ父よ」「お父さん」と呼びかけることを許される。こうして、天と地との間に、神と人との霊の応答が始まる。私は生家の裏山の雑木林の中で、天から派遣されたイエス・キリストから「子よ、心安かれ。汝の罪ゆるされたり」との御声を聞く体験を賜わった。それ以来、はや五十年近くなるが、天を仰いで幾度（いくたび）神をよばわったことであろうか。その数を数えることはできない。孤独のたたかいの中で、罪を犯せし悔恨の涙の中から、あるいは、ひとり夜道を歩きつつ、また、星空を仰いで、父なる神の御名を呼び、キリストの十字架にすがりしこと幾万回であろう

か。神を父として、キリストを友として我等の人生
は讃美と感謝に満ち溢れる。（『復活』第344号 1
995年5月）